



花と湯の下

中之条町
町勢要覧
2018

花と湯の町 なかのじょう

中之条町は、美しい自然に恵まれ、歴史と文化が息づく町です。平成22年（2010年）に六合村と合併し、新しい中之条町として、人と地域の新しいつながりや魅力が生まれました。

（つづき）

神秘的な野反湖、世界的に重要な生態系の宝庫として登録された芳ヶ平湿地群、本州で唯一のチャツボミゴケ群生地など、この町は美しい自然に彩られています。

四万、沢渡、六合など、歴史と情緒に溢れる温泉郷がにぎわい、中之条ビエンナーレに代表されるように、芸術による交流が中之条町で大きく広がっています。

先人が築いてきた伝統を継承し、魅力を創造しながら発展してきた中之条町では、新たな産業の育成と観光の振興を図るため、町民参加型の花のまちづくりを進めています。

町外から訪れる人々と町民の交流が広がり、心と心のつながりが深まっています。
中之条町では、町の魅力を内外に発信し、元気で笑顔があふれるまちづくりを推進しています。



中之条町は、群馬県の北西部に位置しており、新潟県、長野県に接する県境の町です。豊かな自然につつまれたこの町は、首都圏からわずか150kmたらずの距離にあります。



足湯鼎談

四万温泉のちり洗う

歴史と民俗の博物館ミュゼ館長の山口通喜さん、一般社団法人四万温泉協会副会長の中沢まち子さん、中之条町観光大使の小暮淳さんに四万温泉の足湯にひたりながら、四万のまちを歩きながら中之条町と四万温泉について、熱く語っていただきました。

私は
歴史と民俗の博物館「ミュゼ」館長
山口通喜です

私は
中之条町観光大使
NPO法人湯治乃邑代表理事
温泉ライター
小暮 淳です

私は
一般社団法人
四万温泉協会副会長
中沢旅館女将
中沢まち子です

よ
せのちり洗う
よ
四万温泉

許諾第29-02102号

体を内と外から癒す
四万温泉

山口通喜 私は中之条町に生まれ、進学と仕事でこの町を離れていましたが、中之条町に戻り、ミュゼの館長を務めています。父がミュゼの初代館長で、昔から中之条町の歴史を聞かされていました。四万の歴史を調べてみると面白い話がたくさんあります。

中沢まち子

私は父が始めた旅館を

継いで、2代目です。子どもの頃から共同湯に入つて育ちました。温泉の大切さを四万の人たちから教わりながら成長しました。中之条町を散策したいというお客様に、私はミュゼをお勧めしています。ミュゼを見て、つむじで食べて、おみやげを買っていただく。中之条町の魅力が凝縮されていると思います。

山口

ありがとうございます。ミュ

ゼが面白いと言つてもらえるのが私の生きがいです。

小暮 淳

私は2000年10月に、四万温泉協会の主催で開催された「探四万展（さがしまてん）」にパネリストとして参加したのが縁で、四万温泉の魅力に取りつかれました。私の温泉ライターとしての原点

は四万温泉です。

山口 中之条町は、人と人との結束感が強いですね。普段からみんなが寄り合って、いろんな話ができる。

中沢さんが入っていた共同湯も人と人のつながりを作っていました。

中沢 共同湯のお風呂は楽しかったです。

小暮 昔は川に洗い場もあり、川へ降りて行く石段が残っています。

中沢 まさにその通りの風景が「河原の湯」です。橋のたもとで雰囲気があります。湯屋の上を展望台にして楽しんでもらっています。

山口 温泉を楽しみ、人々が集い、憩う。そうした伝統が四万にあるのでしょうか。湯治場として人々のつながりが四万にありました。

小暮 そもそも四万は、近在の湯治場であり、草津の上がり湯と位置づけられていきました。

中沢 息子が母親をおぶって来たそうですよ。

小暮 春湯治、夏湯治、秋湯治、冬湯治と言って、田植えや稻刈りが終わったらという節目に湯治がありました。体の疲労がたまる頃に湯治に来たのです。

中沢 農作業の時期と関係していたのですね。

山口 興味深いお話を聞きました。

小暮 疲れたと思ったら、温泉に行つて疲れをとるのです。万病のもとを

断つ未病対策です。四万は飲泉ができることも大きな特徴です。飲泉ができる温泉は全国でも多くあります。体の外と内から、癒してくれる。

「世のちり洗う 四万温泉」を知る



中沢 私は「四万温泉」、四万という名前がすごいと思います。

山口 四万温泉は、「四万の病を治す靈泉」という伝説に由来します。

中沢 四万温泉に対する誇りを私たちが引き継いでいると思います。

山口 四万温泉は、上毛かるたの「世のちり洗う四万温泉」として、群馬県民全員が知っていると言つても過言ではありません。当館の企画展として、初めて四万温泉展を開催し、大きな反響がありました。その時に、「四万に来て初めてかるたの語意を知る」という小暮さんの言葉を見つけました。これを見た時は、

四万の本質を突いていると思い、本当に驚きました。

小暮 ありがとうございます。「世のちり洗う」の意味は、四万に来ないとわからない。

山口 小暮さんから太宰治の小説に

四万温泉が出て来ることも教えられました。井伏鱒二らと四万温泉に来ています。NHKの朝の連続ドラマ

「花子とアン」で脚光を浴びた女流歌人・柳原白蓮も四万温泉に来ています。先ほど3人で四万温泉を歩きましたが、「小泉の滝」でお茶を飲んだとか。

中沢 昔は滝の水でお茶を入れたらしいのです。白蓮がお茶を飲みながら、滝に見入ったということです。滝を休憩所にして、そのことを知つてもらえるようになりました。

小暮 四万温泉や中之条町を訪れた文人の足跡をまとめ、今のお話のように四万に来て何をしたかを知ると、とてもおもしろい。

中沢 地域に誇りを持つことにつながります。中之条町にとっても大切なことですよね。

山口 お客様も同様です。太宰が四万温泉に来たことはほとんど知られていませんから、太宰と同じ温泉を選んだという満足感が生まれます。

川を堰き止め 昔ながらの自然湧出

中沢 四万温泉の誇りは何といつてもお湯のすばらしさです。

小暮 最近は都市部でもボーリングでお湯を掘つており、温泉の価値が大きく変わってしまいました。私はマグマに熱せられ、少なくとも湯、動力を使えなかつた時代からあるお湯を温泉と言っています。

中沢 四万温泉は、川の水を堤で堰き止め、その圧力で温泉を湧き出させています。堤を使つているのは、

共同浴場「河原の湯」





温泉街落合通り

小さなつながりが
大きな力に

り、お湯が出なくなると、ボーリングして源泉を掘つてしまつたのです。四万温泉のように伝統的な方法で源泉を守つているのはすばらしい。群馬の温泉遺産にしましょう。

小暮 外国人とおばあちゃんのせつかくの交流を、一過性にしたくなかった。人と人のつながりって、面と向かって会うことだけではなくて、誇りや自慢を共有することも、心のつながりになつて、いると思います。

中沢 四万の空き店舗をまちかど博物館として活用しています。地域の方々も本当に喜んでくれました。

中沢 ビエンナーレは中之条町のすばらしいイベントです。ビエンナーレによって、中之条町を隅々まで知ることができ、私たちもあらためてこの町のすばらしさに気が付きました。

小暮 中之条町のブランドになりましたね。

最初は現代アーティストの作家が何を作っているのかわからなくて。それが今では、町の年輩の人たちも

集まると、「今年はあそこで作つて
いるのが面白いよ」と話しています

中沢 今年は外国人の作家が多かつ
し、観光のお客様にもお勧めの作品
を紹介しています。

山口 たですよね。

失礼ですが、お年寄りと外国人の作家が片言の日本語で交流しています。

山口 それいぢこい
山口 こうした交流が中之条町の特徴になっています。

山口 応援しあえる町です、中之条町は。
中沢 若い世代では四万温泉には若女将の会があつて、とても仲が良いです。真摯な思いでつながつている。「四万ついいよね」っていう思いを伝えていきたい。

小暮 四万温泉は青年部が熱いですね。あれほど熱い青年部はないと思う。後進者不足で温泉地の課題です。

が、四万は青年の力で可能性を広げています。

四万温泉の誇りを引き継ぐ



中沢 お客様の声に「四万はこのまま、変わらないでいてほしい」という意見がありました。田舎は何もないと言われることが多いですが、お客様は、四万の良さがわかっている。

小暮 私が2000年に参加した「探四万展」のテーマが、「内から見た四万。外から見た四万」で、結論が「四万には何もない良さ」があるということになった。「何もない」ということは、訪れたくなる原風景があるということです。

中沢 温泉地としての誇りを四万の人たちは持っていると思います。

小暮 何もないことを守ることは、不便を守ることでもあるので、住民にとっては実はとても難しい。変わらないでくださいというのは、外からの視点です。住んでいる人は、橋や道路が欲しい。自然と開発のバランスをどうするか。そこをなんとかしないと、日本全国どこでも同じ町になってしまいます。変わらない、守るということは、とてつもなくエネルギーのいることです。

山口 今年の四万温泉展では展示と同時に、現地を見るツアーを実施し

ました。普段、見られない場所をコースに加えたりしました。

小暮 館長は町外での暮らしも長いので、中之条町を外から見る視点も持っている。四万のいいところが見えているのだと思います。

山口 日向見薬師堂の扉は江戸時代に書かれた落書きがあるそうです。病を治すために、色々書かれてていって、落書きから四万温泉の歴史がつながってきます。四万温泉は本当にいい歴史探索ができるので、多くの人に知らせたい。

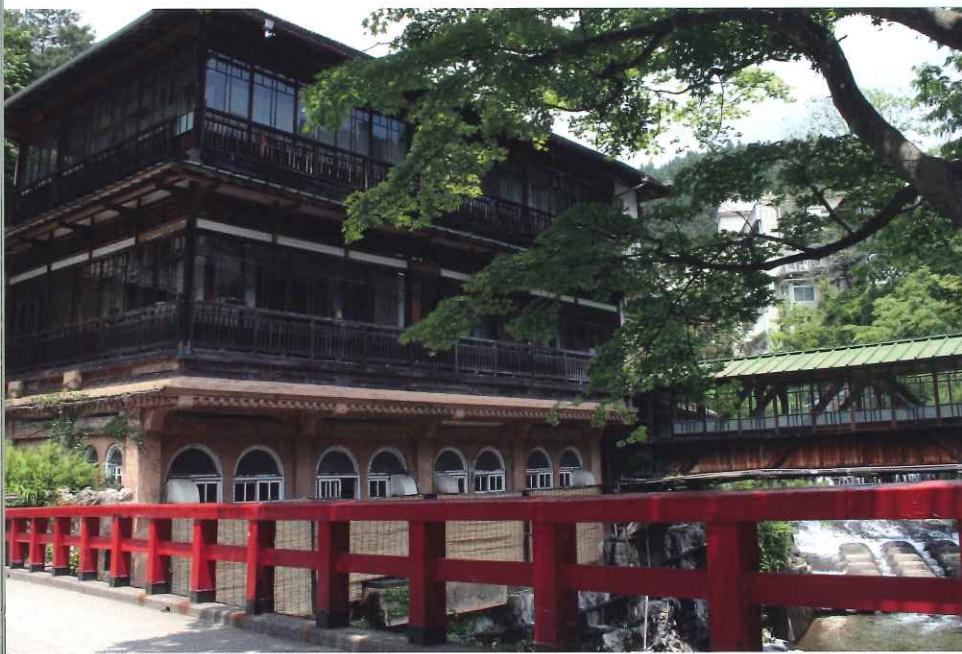
中沢 内=住民の目線、外=お客様の目線がいっしょになつて、大切なことを守つていける。

中沢 博物館をまちおこしに活かしたいと思っていました。

小暮 四万の温泉街を歩いていると地域の誇りが伝わってきます。

中沢 今日のお話を通じて、四万温泉に対する思いを私たちが引き継いでいるのだなと実感しました。これからも誇りを持って温泉の伝統を守ります。みんなをつないでいたらと思います。今日は本当にありがとうございました。

山口・小暮 ありがとうございました。



積善館の前新・山荘・廊下橋

積善館の山荘は国の登録文化財、本館は県の重要文化財、前新、向新及び廊下橋の建造物については町の重要文化財に指定されています。昭和5年に建てられた前新は3階建てで、1階の浴場(元禄の湯)は鉄筋コンクリート造り、大正ロマネスク様式を残すアーチ形の窓を備えています。また山荘は木造2階建てで、和風建築の粹を集め桃山風の建築です。廊下橋は、新湯川を挟んで「前新」と「向新」とを結ぶ屋根付き廊下風の橋で、木造の簡素な造りですが、トラス状に組んだ支柱に切り妻の屋根を置き、腰板を張っています。



まや 摩耶の滝
Map D-2

四万温泉郷

四万温泉 溫もり憩いの出湯

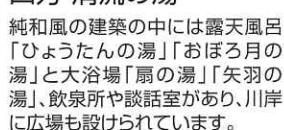
草津、伊香保とともに上毛三名湯に数えられ、四万川の上流に三方を山に囲まれて広がる四万温泉。「四万(よんまん)の湯に効く伝説の湯として有名で、鎌倉時代からその名を知られていました。



四万 清流の湯 Map E-3



四万の滝穴 Map E-3



四万 御夢想の湯 Map D-2



四万湖 Map E-4

中之条町勢要覧 2018

■発行・編集 / 中之条町役場

〒 377-0494 群馬県吾妻郡中之条町大字中之条町 1091 番地

<http://www.town.nakanojo.gunma.jp/>

TEL0279-75-2111 (代)

■制作・印刷 / 荒瀬印刷株式会社